

昭和10年頃の姿（戦前）

平成30年の姿

#### 【当時の写真の概要】

現在の通称レンガ通りと通称県庁通りの交差点を向かいの建物の2階から望んでいる。道路のほぼ中央を路面電車の線路が走っている。

これは、道路の基礎混凝土を施工している写真であると推定されます。

※混凝土=コンクリート



#### 【当時の写真より気づいた点】

- 路面電車がほぼ道路の中央を走っていた時代であることから、まだ自動車による移動が一般に普及する前である時代背景がうかがえる。
- 建設機械がほぼ無い時代、多くの人の手によって施工されており、また細かく作業が分担されている様子うかがえる。

#### 【当時を知る人からのひと言】

- 「工事は、ほぼ人力に頼るしかなかったから現場には多くの人があつたんだ。」
- 「コンクリートはまだ製造工場が無かったから、現場で練って使っていたんだ。」  
(写真①位置の機械)